

東京都臨床検査技師会 第6回理事会

日時：平成22年10月20日（水）19時00分～21時00分

場所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，藤浪，真鍋，原田，荒木，水越，伊藤，工藤，八木，鈴木，蝶名林，高城，栗田
杉岡，寺島，多田，河合，永瀬，東海林監事，出井役員選出委員

欠席者：なし

1. 行動報告

9月22日（水）コンピュータ運営委員会	高城，鈴木
9月22日（水）データ標準化委員会	荒木
9月24日（金）編集部会	小松，高城，八木
9月27日（月）学術部会	荒木，蝶名林
9月28日（火）表彰選考委員会	千葉，小松，伊藤
9月29日（水）渉外部会	真鍋，栗田
10月1日（金）組織部会	原田，杉岡，寺島，多田，河合，栗田，永瀬
10月5日（水）四役会	下田，千葉，小松，藤浪，真鍋，原田，荒木，水越，鈴木
10月7日（金）会計部会	鈴木，水越

2. 報告事項

1) 平成22年度第5回理事会議事録についての内容確認と承認

2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

- ・日臨技公益事業（乳がん予防啓発に関する事業）に関して，乳がん触診モデルを購入し事務所に納品済み
- ・「HPVワクチン公費助成署名」の依頼を受け署名活動を行った
藤浪理事の報告によると東京都臨床検査技師会：13872名（日本臨床衛生検査技師会として30万名）の署名が集まった
- ・秋の健康まつりに関して，保険の申請とJAMTIS登録を行う

<東部地区>

- ・10月10日（日）江東区民まつりに参加（血管年齢）
- ・10月17日（日）江戸川区民まつりに参加（血管年齢）
- ・2月26日（土）公開講演

場所：タワーホール船堀（桃源の間）

時間：14:30～17:00

内容：この春，糖尿病診断基準が変わる？ ～知ってますか？ヘモグロビンA1cと糖尿病～

講師：技師1名，医師1名を予定（打診中）

<西部地区>

- ・10月9日（土）中野健康まつりに参加（骨密度・血管年齢・乳がん検診）
- ・11月3日（水）地区レクリエーション（バーベキュー）
- ・11月27日（土）公開講演

場所：新渡戸文化学園 小学校講堂

時間：13:15～16:30

内容：メタボ体操・ウォーキング

<南部地区>

- ・10月24日（日）大田健康まつり（骨密度・血管年齢・乳がん検診を予定）

<北部地区>

- ・11月6日（土）BLS・AED講習会を開催予定（日本大学医学部附属板橋病院）
- ・12月3～4日（金・土）『いたばし健康ネット』参加予定（血管年齢）

<中部地区>

- ・10月17日(日) 『大新宿まつり』に参加(血糖測定)
- ・2月 BLS・AED講習会を開催予定(詳細検討中)

<多摩地区>

- ・BLS・AED講習会
日時:平成22年9月4日(土) 午後1時30分～
場所:三多摩労働会館(立川)
- ・10月11日(月) 稲城市健康まつりに参加
- ・10月17日(日) 小平市民まつりに参加(血管年齢)
- ・講習会について 日時:平成22年11月開催予定(詳細検討中)
内容:細菌検査
講師:小栗豊子技師

【検討事項】

- ・来年度の会費納入および保険関連に関して
- ・来年度事業計画に関して
 - ①都臨技オリエンテーションおよび施設連絡者会議は会話を中心とし特別講演などは行わない方向とする
 - ②都臨技レクリエーションに関して
会員親睦のための必要性は理解しているがここ数年の傾向として参加者募集や担当幹事の労力も相当なものであり、例年の予算と参加人数を鑑みると続行が困難と考える

○渉外部

【報告事項】

- ・日臨技助成公開講演について
日時:平成22年12月4日(土) 15:00～17:15
場所:TKP新宿ビジネスセンター(新宿モノリスビル11階スカイ会議室A)
講師:新宿さくらクリニック院長 澤村正之先生
内容:性感染症の現状とHPVについて(最近の話題であるワクチンなど予防について)
池袋ふぉー・ていー 愛川 修平氏
内容:自施設の取り組みと若者の抱える悩みについて
- ・学生対象講演会の報告について
アンケートの集計が終了し、報告原稿が出来上がったためホームページに掲載

【検討事項】

- ・日臨技助成公開講演会について
会誌11月号に講演会の案内を入れられるか確認(5部まで折込無料)
- ・年明けに行う公開講演会について
内容:現代病ともいえる「うつ」について行う予定
講師:駿河台日大病院の先生に打診中
臨床心理士や患者の家族会などから実際の話などもしてもらってはどうか検討中
広報:①先生の外来に案内ちらしを設置していただく
②保健師さんに案内する
③「うつ」関連をインターネットで検索し、可能なサイトなどで案内する
- ・今後の活動について
11月頃に技師学校へ問い合わせのための手紙を発送する
自動振り替えとなる会費納入について、日臨技と都臨技との整合性が取れないと昨年まで使用していた1000部の案内が使えない(入会申込書、振り込み用紙、案内チラシなど新規作成が必要)

○学術部

【報告事項】

<公衆衛生検査研究班>

- ・平成22年7月28日(水) 「乳がんの現状と対策(画像診断から病理まで症例を中心に)」
総参加人数:46人(会員:36人 学生10人)

- ・平成 22 年 9 月 16 日（木） 「治験の現状と CRC について」

総参加人数：18 人（会員：18 人）

<血液検査研究班>

- ・平成 22 年 9 月 16 日（木） 「検査に必要な血液学（血球形態異常の捉え方ー骨髓異形成症候群を中心に）」

総参加人数：100 人（会員：100 人）

<免疫血清検査研究班>

- ・平成 22 年 9 月 9 日（木） 「HCV-抗体検査と抗原検査の役割」

総参加者数：39 人（会員 29 人 学生 10 人）

<生理検査研究班>

- ・平成 22 年 8 月 7 日（土） 「脳波技術講習会」

総参加者数：36 人（会員 36 人）

<微生物検査研究班>

- ・平成 22 年 9 月 17 日（金） 「微生物検査技師のための Case Study (5) 「痰」」

総参加者数：78 人（会員 78 人）

<病理細胞診検査研究班>

- ・平成 22 年 9 月 16 日（木） 「①臓臓の病理 ②細胞診症例検討会」

総参加者数：28 人（会員 21 人 学生 7 人）

- ・平成 22 年 9 月 25 日（土） 「細胞診スライドカンファレンス」

総参加者数：112 人（会員 54 人 学生 55 人 非会員 3 人）

<輸血検査研究班>

- ・平成 22 年 8 月 1 日（日） 「輸血検査研究班実技講習会」

総参加者数：62 人（会員 60 人 非会員 2）

- ・平成 22 年 9 月 14 日（火） 「輸血トラブルシューティング（カラム凝集法）」

総参加者数：99 人（会員 99 人）

<臨床化学検査研究班>

- ・平成 22 年 9 月 21 日（火） 「精度管理の評価について」

総参加者数：25 人（会員 25 人）

<臨床検査情報システム研究班>

- ・平成 22 年 7 月 28 日（水） 「かんたんネットワーク（ファイルの共有）」

総参加者数：21 人（会員 21 人）

- ・平成 22 年 10 月 27 日（水） 「イントラネットの実践」開催予定

前回同様、他の研究班研修会にて案内のパンフレット配布を依頼

<一般検査研究班>

- ・平成 22 年 7 月 2 日（金） 「大腸がんスクリーニング検査の新しい試み」

総参加者数：67 人（会員 62 人 学生 2 人 非会員 2 人）

- ・平成 22 年 8 月 21 日（土）、22 日（日）に関甲信主催、東京都担当にて一般検査研究班研修会が行われた
講義のみ 47 名、実習 120 名の参加があった

<関連事項>

- ・生涯教育制度について

日臨技よりバーコードスキャナを使用した受付方法がサポート情報として公開されたので、配布した
今後、学術部として新しい受付方法を整備する必要があると思われる

【検討事項】

- ・学術部の平成 23 年度予算案について

現在の学術部予算案を再考し、削減する必要がある

①医師が講師を務める研修会をできるだけ共催にする ②特別講習会での製本費は受益者負担で行う

③都臨技学会のため、研修会の回数を削減する

- ・中期検討委員会からの案件

①各研究班の一番ニーズのある研修会を挙げる ②研修会の評価方法を検討する（参加者アンケート）

- ・実技講習会で収支に欠損が生じた案件について、協議中である

- ・都臨技学会の在り方について討議していく
 - ①現行では、2年に一度の開催（賛助会員からの費用捻出が困難）
 - ②毎回企画が異なるのは問題（前回の学生演題は好評であり、会員の確保に繋がる）

○編集部

【報告事項】

- ・都臨技会誌掲載内容について
- ・編集部の平成23年度予算について
四役会から次年度予算組みについて次のような意見が寄せられた
「会誌発行事業で予算全体の1/4を占め、会誌が予算を逼迫している。については、現行年6回発行の会誌を年4回にしてはどうか」
これについて、編集部としての考えをまとめ意見書を10月3日に再予算計画に添付し提出することとなった
- ・研修会行事予定表について
会員から、現行のホームページからプリントアウトする方法ではなく、施設毎に配布して欲しいとの要望がある
最善策を今後も理事会で検討していく

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成22年9月30日現在）
会員数 3,994名 賛助会員数 65社
- ・新入会員12名が確認された

○会計部

【報告事項】

- ・平成22年9月の収支計算書、予算管理月報、平成22年度中間決算報告、他2表を作成・報告
- ・平成22年度会費未納について9月30日現在237名
- ・平成22年9月のおもな事業活動収支について
収入：倫理の高揚および資質向上事業、日臨技国民健康委託費
支出：臨検啓発事業費、地域保険共済事業費、検査調査研究費、倫理の高揚および資質向上事業
機関誌発行事業、管理費
- ・前期決算について、10月7日（金）の会計部会にて集計確認した
- ・物品管理・固定資産管理について
財産目録（什器備品）以外の有形固定資産の保有状況確認を各部局と調整しながら進める
取得額10万円未満であっても、1年以上使用目的のものを把握する
- ・会計規定見直しについて
会計に関連記載のある規定・内規を確認し、改定に沿った記述への変更を進める

○事務局

【活動報告】

- 9月24日（金） 口座振替案内発送
- 9月28日（火） 表彰選考委員会参加（伊藤）
- 10月5日（火） 健康まつりなどの委嘱状発送
- 10月7日（木） 中間監査開催通知発送

【連絡事項】

- ・HPVワクチン無償化署名活動について、当会の署名数は13,872名となった
- ・事務所の封筒新規作成について、ロゴ入り封筒を新規に作成した
- ・事務所の年末年始休暇について
平成22年12月28日（火）～平成23年1月4日（火）までとする
- ・都議会ヒアリング内容の趣旨説明について

日時：平成 22 年 10 月 5 日（火）14 時から 15 時 40 分まで

場所：都議会民主党会議室

出席者：民主党；都議会民主党幹事長 大沢昇氏（江東区選出）

都議会民主党総務会長代行・厚生委員会副委員長 斉藤あつし氏（小平市選出）

都議会民主党政調会 山崎みどり氏

東京都；福祉保健局 医療政策部 医療安全課長 田中敦子氏（医師）

福祉保健局 医療政策部 医療人材課長 前川久恵氏

福祉保健局 医療政策部 医療安全課長補佐 佐藤公生氏（医務係長）

健康安全研究センター 精度管理室 室長 矢口久美子氏（薬剤博士）

都臨技；下田会長，千葉副会長，小松副会長，藤浪副会長，荒木常務理事，鈴木会計部長

内容：東京都で行う標準化事業を都臨技に委託事業（補助金）にしてもらえないかと提案。

今後、千葉副会長を窓口を検討を重ねる。都臨技が、東京都の福祉保健局課長と初めて面談できたことは画期的であり、今後の都臨技の方向性をも左右することで期待できる会合であった。

3) 各委員会報告

○コンピュータ運営委員会

【報告事項】

- ・前回議事録確認
- ・作業原稿確認（主として、会員数掲載・求人情報・インフォメーション・至急対応お知らせ）
- ・前担当者（福良前委員）からの申し送り

内容：プロバイダー会社（契約等の内容）、現在運用されている転送メール内容、現在運用されている各研究班、ホームページ運用方法、各地区ホームページの扱い、会員専用ページの運用方法、委員会運用規定、委員会の業務内容、ドキュメントの引継ぎ

上記内容をもとに現状運用に照らし合わせて運用等の変更を今年度中に検討する

- ・メールインフォメーションについて

info@tmamt.or.jp を作成し登録の準備を行っていく

○表彰選考委員会

【報告事項】

- ・第 4 回委員会議事録および追加報告の確認

【検討事項】

- ・第 46 回 2011 年（平成 23 年度）小島三郎記念技術賞の推薦準備について
推薦依頼が例年 12 月初旬に当会へ届いていることから、表彰選考委員会委員及び理事等の役員並びにその近隣から該当する候補者の発掘に協力を依頼する。書類整備に時間を要することから、学術業績を記入する申請書類（功績調書及び業績）を当会ホームページから各自がダウンロードできるようにアップロードし、推薦依頼に備えることとしたい。
- ・第 30 回 2011 年（平成 23 年度）福見秀雄賞の推薦準備について
推薦依頼が例年 12 月初旬に当会へ届いていることから、候補者の発掘を依頼していたところ、推薦者の推挙報告があり、必要書類の提出を条件に委員会として審議することを承認した
- ・平成 22 年度新春のつどい・各賞受賞者祝賀会について
当会会員が自動化学会、微生物学会、細胞学会等の受賞者であれば新春のつどいに招待したいという意見があり、委員会として承認したので該当者があれば通知をお願いすることとした

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（9 月）

都臨技研修会 10 件 登録者数 582 名 該当者なし 0 名

- ・申告

会場研修 4 件 登録者数 9 名

○データ標準化・精度管理調査委員会

- ・平成 22 年度都臨技精度管理調査について

10 月 19 日（火）試料梱包送付作業実施し、10 月 20 日（水）試料到着・測定実施依頼
合計 150 施設（医療機関 131 施設、メーカー 19 施設）の参加となった

- ・検査室認証制度事業について

日臨技より各都道府県技師会および基幹施設へ精度保証施設認証制度指針が送付され、パイロット認証として
東京都基幹施設においても 10 月 12 日（火）～10 月 22 日（金）に認証申請を行うこととした

3. 審議事項

○議長と議事録署名人

- ・第 4 回理事会の議長に下田会長、議事録署名人に河合理事と永瀬理事が選出された

○表彰選考委員会

- ・平成 23 年新春のつどい・各賞受賞祝賀会に招待する各学会等の受賞者をリストアップし提案、会員であることを調査し承認することとした

○データ標準化・精度管理調査委員会

- ・都臨技検査室認証委員会（仮称）を設置したい要望があり、データ標準化・精度管理調査委員会が兼務することで承認された

4. 共催許可願い書および特別講習会実施許可願い書について

○微生物検査研究班から共催許可願い書が提出され、承認された

講演名：Zoonosis（人獣共通感染症）

期日：平成 22 年 11 月 19 日（金）18:30～20:00

会場：東京大学医学教育研究棟 セミナールーム 13 階

講師：片岡 康 先生（日本獣医生命科学大学 獣医微生物学）

賛助会員：大塚製薬株式会社（担当：矢口 大輔 氏）

申請者：西山 宏幸

○病理・細胞診検査研究班から特別講習会実施許可願い書が提出され、承認された

講演名：特別講演会 ー第 10 回組織実習（乳腺病理）ー

期日：平成 23 年 2 月 19 日（土）13:00～18:00

会場：日本医科大学大学院棟 組織実習室

講師：土屋 眞一 先生（日本医科大学付属病院 病理部）

担当：渡會 泰彦

平成 22 年 10 月 20 日（水）

（社）東京都臨床検査技師会

議 長 下田 勝二 印

議事録署名人 河合 昭人 印

議事録署名人 永瀬 昌史 印